

cafe & zakka
blue marrow
ブルーマロウ

hair salon
marglit マルグリット

リビングサービス課 岡本 芳宣

こんにちは！ リビングサービス課の岡本です。皆様花粉症は大丈夫でしょうか？
私は花粉症＋鼻炎で常にマスク状態です ^^; 季節的にあと少しで解放されると思い仕事に励んでいます★

さて今回は先日当社で改装工事をさせて頂いたお店をご紹介します。
場所は伊賀市内から阿山方面に走っていくと南動物病院さんの前にあるカフェ雑貨と美容室が併設した【cafe & zakka blue marrow ブルーマロウ】さんと【hair salon marglit マルグリット】さんです。

ブルーマロウさんでは伊賀市の農園直送の新鮮な食材を使ったランチやスイーツ、ドリンクなどが頂けます。紅茶やハーブティーはこだわりで青森から取り寄せており、ご自宅でも楽しんで頂けるように販売もしています。
また雑貨コーナーもあるのでカフェと併用して楽しめる空間となっています。



マルグリットさんはカウンセリングから仕上げまでスタイリストが担当する女性のためのプライベートサロンです。帰宅後ご自身でのスタイリングが容易にできるようにスタッフさんが心がけてくれているようです。ヘッドスパやリラクゼーションが好評のようでは是非お試しくださいとの事です。

皆様是非お立ち寄りください ^^ ★

cafe & zakka blue marrow ブルーマロウ

Tel : 0595-51-4283

Open 10:00 ~ 20:00 (Cafe LO 19:30)

Close 一月曜日

hair salon marglit マルグリット

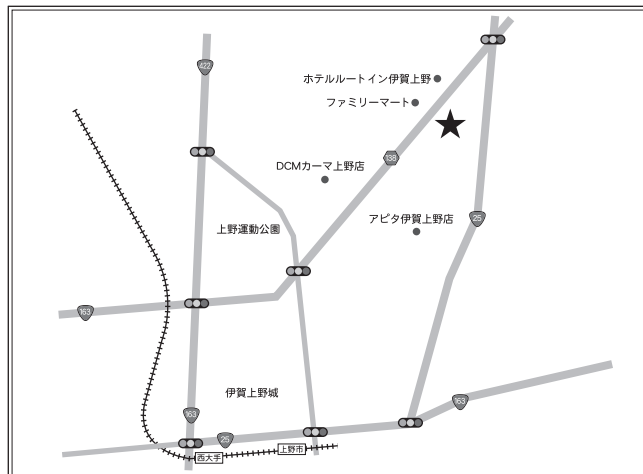
Tel : 080-8124-1960

平日 10:00 ~ 19:30 土日祝 9:30 ~ 19:00

予約優先 定休日 一月曜日＋不定休

〒518-0007 三重県伊賀市服部町字高羽根 291-1

Instagram/@bluemarrow_marglit



アポ新聞

西国三十三札所 第十六番札所 「清水寺」を訪ねて

外販課 稲葉 英治



先日、西国三十三札所のうちの第十六番札所として有名な音羽山「清水寺」とその周辺を散策してきました。

日本最古の巡礼所「西国三十三ヶ所」は観世音菩薩が人々を救うために示したと伝わる観世音霊場。後に観世音菩薩が「33の姿に変えて人々を救う」という教えが広まり、観世音霊場は「西国三十三ヶ所」として各自院が札所となり、祈りながら巡礼していく文化が創られました。

「西国三十三ヶ所」の総距離はおよそ千キロにおよびその名の通り北は京都府宮津市の成相寺、南は和歌山県那智勝浦町の青岸渡寺、東は岐阜県揖斐川町の華厳寺、西は兵庫県姫路市の圓教寺と言った二府五県にまたがる霊場です。

「清水の舞台」で有名な京都を代表する名所と言うこともあり、多くの参拝客が訪れていました。ですが、周辺から聞こえてくる声は外国語が多く、海外旅行に来ているかのような錯覚を覚えました。

これまで何度か訪れ、気になっていた事が一つあります。参拝の後に巡礼した証として御朱印を受け取る朱印帳「納経帳」です。納経所におられた方が優しい方でいろいろ教えて頂きました。悩みぬいた結果、西国三十三ヶ所が1300年の節目と言うこともあり自身も西国三十三ヶ所を巡る事にしました。

納経帳は御朱印を受けるための帳面。巡礼者がなくなったときに棺桶へ入れることもあります。本来は個人の生きた証とされるものです。

納経帳には二種類あります。ひとつには本尊や御詠歌などが書かれてあり、西国33番札所の順番通り綴られた西国巡礼専用の納経帳があります。もう一つは何も書かれておらず、訪れた順番に納経場で御朱印を受ける納経帳があります。

教えて頂いた方によれば、本来巡礼は僧侶や修験者らの厳しい修行で、昔では4、5ヶ月かかると言われています。現在では自動車を使えば2、3週間ですべての札所を巡る事ができますが、今では若い方も多く訪れ納経帳だけを持って巡礼する人も多く、スタンプラリーの様に扱われていると言うことでした。

昨年から西国33所が1300年の節目を迎え、2020年までの5年間記念行事が行われています。その一つに御朱印以外に受け取られる「散華」があります。

「散華」は観世音菩薩からの大切な預かりものとされ、仏を供養するために散布する花のことだそうです。釈迦誕生の際に天から花が降ったと言われ、慶事の法要に使われます。散華には札所ごとに観音経の一字が書かれています。

西国33ヶ所をすべて参拝し終わる事を「満願（結願）」といいます。祈願が達成されたという意味になります。納経帳の朱印は仏の分身ともいわれ、分身を授与されたと同じ意味になり、お守りとして扱われます。西国巡礼では朱印を閻魔大王が授けた宝印とし、すべて集めれば極楽浄土への招待状になるとされています。自身の葬儀には極楽浄土に連れて行ってもらおうという意味で祈願が達成された納経帳を添えて火葬してもらうこともあります。

西国三十三ヶ所巡りには特別な規定はありません。すでに6ヶ所、番外を含め7ヶ所を、巡りましたが、自身もスタンプラリーのようにならないよう巡礼の意味を心身にじっくりと受け止め、ゆとりを持った三十三ヶ所巡りにしたいと思います。

参考：昭文社「西国三十三か所めぐり」



納経帳



散華